

令和7年3月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	29,903	361,771	363,400	362,879	△ 1,629	△ 1,108
2 調定水量	m ³	530,113	7,244,629	7,423,000	7,397,626	△ 178,371	△ 152,997
3 調定料金(税抜)	円	167,690,747	2,219,268,635	2,249,000,000	2,122,281,595	△ 29,731,365	96,987,040
4 口振加入件数	件	24,385	296,036	-	298,236	—	△ 2,200

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,325	231,453	231,670	229,034	△ 217	2,419
6 調定水量	m ³	342,298	4,576,447	4,551,780	4,574,053	24,667	2,394
7 調定料金(税抜)	円	72,129,918	903,822,770	918,970,000	786,991,498	△ 15,147,230	116,831,272

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	72,532	-	73,993	△ 1,461
9 給水件数	件	29,921	-	30,006	△ 85
10 開栓処理件数	件	362	2,666	2,713	△ 47
11 閉栓処理件数	件	236	2,735	2,821	△ 86
12 給水工事設計審査	件	27	367	515	△ 148
13 給水工事竣工検査	件	48	548	605	△ 57
14 経年メーター交換	件	1	4,422	4,544	△ 122
15 メーター口径変更	件	5	34	40	△ 6
16 督促状発送数	件	1,431	17,072	16,423	649
17 月末停止件数	件	123	-	111	12

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	13	239	229	10
19 排水設備工事完了検査	件	24	261	311	△ 50

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D	R 5	R 4
20 当年度分	196,505,304円	91.95%	201,709,956円	91.37%	0.58%	91.90%	91.84%
21 過年度分	2,303,798円	98.88%	2,756,437円	98.50%	0.38%	98.37%	98.35%
22 計	198,809,102円	-	204,466,393円	-	-	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D	R 5	R 4
23 当年度分	101,341,030円	89.81%	91,969,348円	89.38%	0.43%	90.69%	90.46%
24 過年度分	582,682円	99.37%	529,319円	99.31%	0.06%	99.26%	99.25%
25 計	101,923,712円	-	92,498,667円	-	-	-	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D	R 5	R 4
26 当年度分	403,000円	98.66%	567,800円	99.02%	-0.36%	98.78%	98.79%
27 過年度分	953,700円	26.01%	846,300円	51.41%	-25.40%	28.71%	15.41%
28 計	1,356,700円	-	1,414,100円	-	-	-	-

特記事項

1 令和7年3月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は184,460千円(税込)で、前月期に比べて9,770千円の減、対前年同月比では6,066千円の減となっています。営業収益は184,865千円、営業外収益は長期前受金戻入や負担金補助金及び補償金など273,493千円を執行しました。当期の営業費用は減価償却費や資産減耗費など1,492,150千円、営業外費用は、企業債利息として44,764千円、特別損失として臨時損失50千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事完成に伴う企業債の借入や補助金など1,247,108千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など1,104,495千円、企業債償還金として245,157千円を執行しました。

ウ たな卸資産購入

当期の支出は、水道用資材購入費用として220千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は79,343千円(税込)で、前月期に比べて5,445千円の減、対前年同月比では6,988千円の増となっています。営業収益は79,369千円、営業外収益は、長期前受金戻入や退職給付引当金戻入益など1,226,202千円を執行しました。

当期の営業費用は減価償却費や委託料など2,348,764千円、営業外費用は企業債利息98,624千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事完成に伴う企業債等の借入や国庫補助金など1,150,895千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や調査設計費など409,366千円、企業債償還金として733,639千円、基金積立金として1,867千円を執行しました。

2 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会2月定期議会が閉会

3月3日(月)に開催された令和7年度登米市議会定例会2月定期議会において、令和6年度水道事業会計補正予算、下水道事業会計補正予算及び登米市浄化槽整備推進事業条例の一部を改正する条例が原案のとおり可決しました。

また、3月12日(水)には令和7年度水道事業会計予算及び下水道事業会計予算が原案のとおり可決しました。

(2) 上下水道事業運営審議会を開催

3月24日(月)に第9回登米市上下水道事業運営審議会が開催され、登米市上下水道事業ビジョンの策定及び登米市下水道基本構想の見直しについて審議を行いました。審議の結果、登米市下水道基本構想の見直しについては、妥当と判断されました。

なお、登米市上下水道事業ビジョン策定については、次年度も引き続き審議を行うこととしております。

(3) 貯蔵品実地たな卸実査

3月25日(火)に令和6年度貯蔵品実地たな卸実査が行われました。市監査委員及び監査委員事務局職員が来庁し、登米市管工事業協同組合の資材倉庫等に保管してある貯蔵品について、保管状況や数量と関係書類との突合等が行われました。実査の結果、貯蔵品帳簿在庫と実地たな卸数量が一致していることを確認しました。



【実地たな卸の様子】

令和7年3月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	821,158	9,870,633	9,527,640	9,782,268	342,993	88,365
総配水量	769,570	9,185,150	8,887,710	9,126,618	297,440	58,532
1 有効水量	570,842	7,754,216	7,902,590	7,854,723	△ 148,374	△ 100,507
(1) 有収水量	534,558	7,297,964	7,475,900	7,450,942	△ 177,936	△ 152,978
(2) 無収水量	36,284	456,252	426,690	403,781	29,562	52,471
2 無効水量	198,728	1,430,934	985,120	1,271,895	445,814	159,039
(1) 漏水量	198,142	1,425,252	977,620	1,264,685	447,632	160,567
(2) その他無効水量	586	5,682	7,500	7,210	△ 1,818	△ 1,528
3 有収率	69.46%	79.45%	84.12%	81.64%	△ 4.66%	△ 2.19%

※ 当月期の最大配水量は、3月18日（火）に記録した【25,560m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	9	1,480,471	3	30,162	6	654,671	795,638	46.3%
配給水施設整備事業	38	1,515,680	8	571,671	30	605,313	338,696	77.7%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 岩手県一関市重油流出事故

3月26日、前日に岩手県一関市東山町で重油1,000ℓが流出する事故が発生したとの連絡を受け、浄水施設等管理運転業務受託者が北上川上流部の臨時河川巡視及び水質検査を実施しました。



【オイルマット設置】

重油の漏洩現場付近ではオイルフェンスや吸着マットを使用した作業が行われておりましたが、北上川本流への流出は確認されず、水質検査結果についても問題ありませんでした。

2 強風による配水施設への影響

3月26日、倉崎増圧ポンプ場停電警報が発報しました。東北電力によると、強風により迫町新田・北方地区で併せて1,000軒以上が停電したとのことでしたが、現場確認の結果、異状は見られませんでした。

翌日の27日には、石越配水池の点検時に浄水施設等管理運転業務受託者が配水池躯体に倒れ掛かっている倒木を発見しました。当該倒木は産業経済部が管理する隣地からのものであり、上下水道部から産業経済部へ状況を報告し、対応を依頼しています。



【採水の様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	71	264.240
	付属施設	0	0.000
	給水装置	107	76.827
	計	178	341.067

【漏水調査結果：4月～3月（累計）】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）
約2,382,674円/日当たり
算定：R5年度給水原価 291.08円
累計漏水量 341.067m³/h
341.068m³/h×24h×291.08円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	158,987	2,836,323	3,125,453	△ 289,130	1処理場
特定環境保全公共下水道	47,557	622,697	616,783	5,914	3処理場
米谷・錦織処理区	9,743	131,292	128,595	2,697	
豊里処理区	27,202	356,713	356,438	275	
津山処理区	10,612	134,692	131,750	2,942	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	10,117	139,951	144,131	△ 4,180	
農業集落排水	86,669	1,275,323	1,318,095	△ 42,772	24処理場
迫地区	6,731	95,752	99,852	△ 4,100	
東和地区	2,495	33,045	33,349	△ 304	
中田地区	25,758	369,544	375,578	△ 6,034	
豊里地区	1,688	22,880	23,103	△ 223	
米山地区	33,627	530,309	553,270	△ 22,961	
南方地区	16,370	223,793	232,944	△ 9,151	R6.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	38,968	524,381	518,497	5,884	2,163基
合計	342,298	5,398,675	5,722,959	△ 324,284	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	779,719	6	400,931	4	298,760	80,028	89.7%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	61	546,439	5	284,188	56	191,584	70,667	87.1%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 農業集落排水施設の機能強化工事が完了

3月31日(月)に新高石地区(機能強化)処理施設機械設備更新工事が完了しました。この工事は、平成10年度に供用を開始した南方町新高石地区の農業集落排水施設について、供用後20年以上が経過していることから、処理施設の改修を行い施設の健全化・長寿命化を図り、受益者への円滑なサービスを提供することを目的とし実施しているもので、令和6年度工事においては、攪拌ポンプや曝気装置及び上澄水排出装置などの改修を行いました。今後も引き続き施設の機能強化を実施する予定です。



【施設の改修状況】

2 公共下水道区域の全体計画変更等の業務が完了

3月27日(木)に登米市公共下水道全体計画変更図書作成外業務が完了しました。この業務は、登米市公共下水道事業計画を定めるに当たり、全体計画の見直しに伴う変更図書及び、都市計画法第14条に規定する都市計画図書並びに、都道府県構想の基となる汚水処理施設整備構想策定に必要な図書の作成を行ったものです。今後も適時計画の見直しを行いながら事業を進めて参ります。

○浄化槽整備事業受付状況

(3月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
52	52	0

※令和6年度の申請受付は、12月中旬で終了しました。